Tamaki

玉城町町勢要覧

ひとりひとりのまちづくり

町の花：サクラ

町の木：マキ

初版：平成19年3月発行

玉城町役場

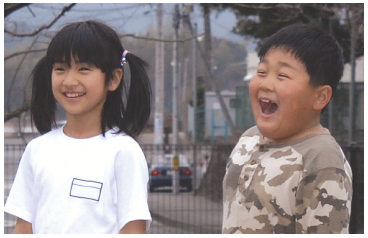
〒519-0495　三重県度会郡玉城町田丸114-2
TEL.0596-58-8200　FAX.0596-58-4494
E-mail info@town.tamaki.lg.jp
HP　http://www.town.tamaki.mie.jp

次へ

元気です たまき

私たちのまち「たまき」は、自分たちで創る。
町民や企業がお互いに協力し合い、
まちのことを想う「たまき愛」によって、
豊かな生活や地域社会を創造することが可能になり、
まちが元気になる活力となります。

たまき愛



Contents

玉城町概要 …… 2

福祉　隣人愛 ―相互に助け合う―
高齢者 …… 3
児　童 …… 4

教育　郷土愛 ―ふるさとといっしょに―
学　校 …… 5
文　化 …… 6

産業　郷土愛 ―ふるさとを育む―
商工業 …… 7
農　業 …… 8
アスピア玉城 …… 9

生活　自然愛 ―しあわせの源― …… 10

未来へ …… 11

QRコードには各課の電話番号が登録されています

戻る
次へ

ふるさとへの想い

玉城町は自然が多く、町民は「自然環境に恵まれている」と町のイメージを持っています。
その大半は農地が占めていますが、最近は企業の拡張や道路整備により宅地も増えてきました。
自然環境を保持しつつ、「ふるさと・たまき」が、住みやすく、働きやすい町となることで、ここに人が集い、支えあい、安心して暮らせるまちを創っていきます。

人口の推移

Data&column

玉城町は年々人口増加の傾向にあります。
町の活力が増えるなか、住民・企業・行政・団体などが協力し合い、よりよいまちづくりを進めていきます。

（単位：人）　資料：住民基本台帳　（各年1月1日現在）

	H15年	H16年	H17年	H18年
人口	14,813	14,952	14,989	15,083
世帯数	4,392	4,537	4,611	4,725

玉城町概要（H19.1.1）

Data&column

- 面　積 40.94km²
- 位　置 北緯34°29′ 東経136°38′
- 人　口 15,089人（男性7,357人／女性7,732人）
- 世帯数 4,802世帯

戻る
次へ

福祉

地域のみなさんとの交流の中で楽しみながら体を動かしたり生きがいがもてる毎日を過ごしていただくための集い。

高齢者が自分たちで健康チェックや食事指導を意識するように様々な場を設けています。

いつまでも健康であるために

歳を重ねても健やかに暮らしていただきたい。高齢者のニーズに応じた支援するために「健康管理センター」の設置、地域での見守りネットワークの構築、町立玉城病院との連携などお年寄りが自立し安心して暮らせる地域社会を創っていきます。

町の人口

Data&column

玉城町は年少人口の割合が県平均より 2.2%高く、生産年齢人口は 1.4%・老年人口は 0.8% 下回っていますが、一方で老年人口も 20%を占めており、高齢化社会への早期の取り組みが必要となってきています。

玉城町総人口14,824人　平均年齢 42.2歳（男性40.5歳/女性43.7歳）

2,477人 (16.7%)	9,379人 (63.3%)	2,968人 (20.0%)
年少人口（15歳未満）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）

平成16年10月1日現在

たくさんの笑顔とであうまちに

しつけ教室

核家族化が進む中、働く世代にとって、子育てへの不安は、大きな課題です。次世代の育成支援のために町内4保育所で乳幼児保育や延長保育への取り組み、保健師の母子保健活動などさまざまなサポートをしています。

町内には障害者の方の授産施設として「夢工房たまき」があります。さおり織りを使った手提げカバンなどを作り、イベントや町内施設で販売しています。下外城田小学校では県立養護学校「わかば学園」の生徒さんとの交流の場を設け、障害を持つ方への理解を深めています。

お子さんの年齢に合わせてお母さんたちの交流の場を設けています。また保健師が町保育所へ出掛け、歯の衛生指導も行っています。

町立保育所入所者数

Data&Column

玉城町でも女性の就業率は年々高まっています。子育て中の家庭も同じ状況です。そのため町では乳幼児保育への取り組みを始めています。

資料：町生活福祉課

単位：人　　各年：10月1日現在

	H16	H17	H18	18年度 保育園児 0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
田丸保育所	230	241	228		15	27	49	69	68
外城田保育所	189	192	193	16	9	22	46	46	54
有田保育所	114	120	107	2	8	14	25	32	26
下外城田保育所	92	92	103		7	9	32	31	24
計	625	645	631	18	39	72	152	178	172

教育

中学生による田丸保育所での体験学習

次世代へつながるまちづくり

子どもたちは、地域にとって次代の活力です。将来の担い手である子どもたちが、町民や町の企業と交流・研修を通してふるさとや産業に対する魅力を感じる体験ができる機会を設けています。

京セラミタ株式会社との ISO 研修 (外城田小)

中学校では通学途中の安全を確保するため日没までに帰宅できるようクラブ活動時間を短縮。限られた中でも集中して練習に励み、好成績を修めています。

人気のパソコン教室では愛好者で作る倶楽部もでき、ネットを通じて新しい世界が広がりつつあります。

町の児童・生徒数

Data&column

年によって多少の増減はありますが、児童・生徒数はほぼ横ばいの状態が続いています。

児童・生徒数

各年：5月1日現在

	小学生	中学生	合計
H13	964	494	1,458
H14	967	485	1,452
H15	976	492	1,468
H16	994	484	1,478
H17	1,005	479	1,484
H18	988	488	1,476

資料：町教育委員会

5歳階級人口

総人口14,824人

階級(歳)	0～4	5～9	10～14	15～19
人口(人)	822	845	810	827
割合(%)	5.5	5.7	5.4	5.5

資料：総合企画局統計調査室「三重県年齢別人口調査結果」平成16年10月1日現在

町内には 2 カ所の児童館があります。ここでは放課後、保護者の帰宅が遅くなる児童を対象に「放課後児童クラブ」と称し施設を開放しています。低学年の利用が可能で各児童館では常時 190 人ほどが通っています。

梅がおか児童館

受け継がれる伝統 よみがえる文化

村山龍平記念館

朽羅神社

道標：聖地熊野を結ぶ祈り道

勝田流通能

歴史が刻んだ文化財、人々の祈りが詰まった伝統行事
祭りや文化はこの土地に根ざしているからこそ継承されてきました。
近年、世界遺産に登録された熊野、その聖地への出立の地として栄えてきた町で、今の世にカタチを残し受け継がれてきた祭事。時代が変わり、里帰りした勝田能の復活。
町で守り伝わってきた文化はこれまでもこれからも、ココに住む人々が培っていくのです。

町の文化財

Data&column

種　別	名　称	指定年月日
(国指定) 重要文化財(彫刻)	田宮寺十一面観音立像(採色) 平安前期	S25.8.29
〃	田宮寺十一面観音立像(漆箱) 平安前期	S25.8.30
(県指定)史跡	玉丸城跡	S28.5.7
(県指定) 有形文化財(彫刻)	銅造千手観音立像	S30.4.7
(県指定) 有形文化財(彫刻)	獅子舞	S42.2.10
(県指定) 無形民俗文化財	山神の獅子舞	S40.12.9
(県指定)民俗資料	宮古の石風呂	S40.12.9

資料：町教育委員会

玉城の歴史

Data&column

町では弥生時代の遺跡が多く発掘されています。神宮の鎮座に伴いこの地は神領となり、禰宜であった荒木田氏によって開拓されたと伝えられており、町内には今も11の神宮の摂社・末社が残っています。
またこの地は、伊勢と京の都とを結ぶ初瀬街道、さらに熊野街道が往来する交通の要衝でした。延元元年（1336）には北畠親房・顕信父子が玉丸城を築城し、足利氏と対峙し落城。その後も何度かの合戦がありましたが、織田信長の世であった天正8年（1580）には炎上してしまいます。その後も城主を変えながら宿場町として栄えました。
廃藩置県とともに明治4年（1871）度会県、明治9年（1876）三重県管轄となりました。明治22年（1889）町村制施行とともに田丸町、東外城田村、有田村、下外城田村となりました。
昭和30年（1955）4月10日、田丸町、東外城田村、有田村（湯田・妻ケ広を除く）が合併して、玉城町が誕生。翌年9月30日、下外城田村を編入。平成の合併協議では、近隣の5町村で協議しましたが、当面単独の道を選び現在に至っています。

産業

まちを支えるわたしたちの活力

産業の発展には、そこで働く人の活力が支えとなります。
玉城町では大手企業の進出と共に、企業で働く人が増加。それに伴い、宅地、企業の拡張、また道路網の整備がなされるなか、自然環境に配慮した土地活用のまちづくりを推進しています。

JR田丸駅

京セラミタ株式会社
隣接する場所で新工場が稼働（2007.12）。

美和ロック株式会社
工場への誘導道路が整備された。

松下電工株式会社
敷地内でさらに新工場が稼働（2007.4）。

日本各地や世界で使われている優良企業の製品は玉城工場でも生産されています。需要の拡大に伴い生産が増え、工場には町内はもとより近隣からも多くの就労者が勤務しています。また企業では町内の美化活動、イベントへの参加、納涼大会の開催、工場見学の受け入れなど、各社それぞれの取り組みによって地域の人々とのつながりを大切にしています。

サニー道路

伊勢自動車道

企業進出に伴い道路整備も進んできました。

玉城I.C.

就業者の昼間人口

Data&column

平成12年の統計では、玉城町の労働力人口（15歳以上）は8,085人で、うち就労している人口は7,756人です。
そのうち、約半分の人が町外へ働きに出ていますが、町内企業へ町外から多くの就労者が勤務していることがわかります。
企業では、工場や需用の拡大とともに雇用が増える中、町内の雇用促進にも力を注いでいます。

平成12年10月1日現在

夜間人口	昼間流入人口	昼間流出人口
14,284人	4,077人	3,942人

資料：総務省統計局「国勢調査報告」

ふるさとを潤す大地の恵み

牛尾崎池（ため池）

麦の収穫

町内では稲作と畜産や野菜などを取り入れた複合的な農家が増えています。
消費者の食の安全に対する関心が高まるなか、養豚など玉城ブランドの形成、地産地消への取り組みとして「ふるさと味工房アグリ」「米工房」といった地元施設での販売にも力を注いでいます。

ビニールハウスでのイチゴ栽培では体験を兼ねたり、また柿の収穫を楽しんでもらうオーナー制などこれまでの生産する農業とは違ったスタイルが定着してきました。農業は、後継者不足や農地の宅地化など多岐にわたる課題があるなか、観光や交流といった新しい取り組みも進められています。

Data&column

農業生産出額および生産農業所得

総数	米	麦類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	肉牛	酪農	養豚
637	528	1	1	44	22	15	10	8	3	5

（単位：戸）　資料：2005年 農林業センサス 農林業経営体調査

地目別民有地面積（評価総地積）

（単位：%）

田	畑	宅地	池・沼	山林	原野	雑種地
38.43	16.81	9.98	0.06	29.33	0.81	4.63

総面積 40.95km²（平成16年10月1日現在）

資料：国土交通省国土地理院、総務省統計局地域振興部市町村財政室

TOPICS

人が集う憩いの場所 ―アスピア玉城―

アスピア玉城には療養泉として評価の高い弘法温泉と玉城豚や農産物などの販売施設があります。パンやソーセージ作りの体験のほか、四季を通してイベントを開催しています。また自然にふれあうこともできる、芝生広場や散策コースもあり、町内外からの利用者で賑わいます。

玉城弘法温泉

弘法温泉の効能

浴用適応症（浴用に適する症状）
神経痛／五十肩／慢性婦人病／慢性皮膚病／虚弱児童／筋肉痛／関節痛／運動麻痺／関節のこわばり／うちみ／くじき／痔疾／冷え症／病後回復期／疲労回復／健康増進／きりきず／やけど

泉質
ナトリウム―塩化物―強塩冷鉱泉（高張性アルカリ性冷鉱泉）温泉法第２条に規定する良質の療養泉

ふれあいの館

ふるさと味工房アグリ

米工房

生活

玉城町は外城田川を中心に自然が広がっています。
現在、上下水道の整備を進めていますが、分別回収や美化活動などできることから住民一人ひとりが環境への意識を持つよう自然への敬愛をもって郷土の生活環境を考える時期にあります。

みんなで守りたいふるさとを

EM菌でお堀を浄化(玉城中学校)

災害に対して住民の安全を守るため、地域と連動した訓練が行われています。また、通学途中の子どもたちの安全安心を地域全体で支える取り組みも進められています。

企業の美化活動

下水道事業

町境の国束山には的山公園があり、町を一望できる展望台までは里山の散策ができます。アスピア玉城も同様に自然とふれあうことができる施設として整備されています。
ふるさとの自然を保つためには不法投棄・ごみ分別、水質保全など一人ひとりの意識と理解が必要です。

的山公園

ごみ工場搬入量

Data&column

玉城町は年々人口および世帯数が増加していますが、人口増加とともに懸念されるごみについては大きな増加は見受けられません。この要因としては、住民の資源再利用や分別に対する意識が高まっていると考えられます。

(単位:t)

	可燃ごみ	粗大ごみ	不燃ごみ	合計	ビン	その他プラスチック	ペットボトル	合計
H15	3831.86	165.24	278.69	4275.79	84.17	78.46	17.86	180.49
H16	3826.55	145.33	255.12	4,227.00	77.69	80.86	18.83	177.38
H17	3908.74	132.32	213.25	4254.31	79.22	79.81	20.31	179.34

資料:町生活福祉課

未来へ

『住民満足度 No.1 のまち』をめざして

玉城町長
辻村　修一

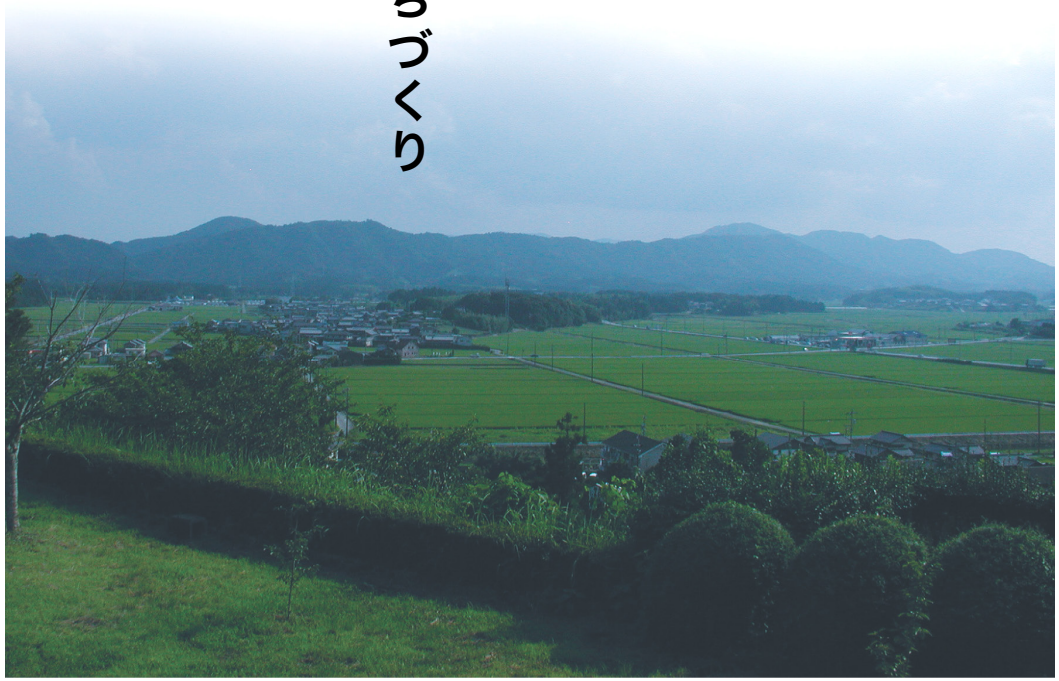
わが玉城町は、三重県の南部に位置し温暖な気候と恵まれた自然の中で古くから栄えてまいりました。

町制が施行されて50年あまり。人口は4割ほど増加し、元気な玉城を象徴しておりますが、まさに今、少子・高齢化の進むなかで町民誰もが将来にわたって真の豊かさを感じることができる誇りをもった『住民満足度No.1のまち』こそが町の重要施策とも言えましょう。

さらに、玉城の人柄、土地柄の良さを発展させ、「玉城に住んで良かった」「玉城へ行って暮らしたい」と思っていただけるまちづくりを進めてまいりたいと思っています。

この要覧は、“げんきな　玉城”を紹介しています。どうぞ本町の姿をおくみとりいただき、今後とも皆様の一層のお力添えをいただければ幸いです。

ケーブルTVの取材

鼓動を感じるまちづくり

町と住民が信頼関係を作っていくための一つの施策が広報です。語り合いを大切にコミュニケーション活動すべてが明るいまちを築いていきます。